

## お詫びと訂正

弊社刊行の『2016 社会福祉士国家試験過去問解説集 第 25 回—第 27 回全問完全解説』の本文中、以下の箇所にご迷惑がございました。お詫びして、訂正させていただきます。(2016 年 5 月 31 日更新)

該当頁	該当箇所	誤	正	備考
68	第 27 回問題 53 の解説文 選択肢 3	現行の児童手当制度は <u>こ</u> の数による支給制限はなく、	現行の児童手当制度は <u>子</u> の数による支給制限はなく、	2016/1/7 更新
75	第 27 回問題 57・解説の選択肢 4	医療型短期入所は、病院、診療所または介護老人 <u>保</u> 護施設において実施されており、(後略)	医療型短期入所は、病院、診療所または介護老人 <u>保</u> 健施設において実施されており、(後略)	2016/5/31 更新
84	第 27 回問題 64 の解説文 選択肢 4	選択肢は、「必要即応の原則」ではなく、「 <u>補足性の原理</u> 」が正しい。	選択肢は、「必要即応の原則」ではなく、「 <u>基準及び程度の原則</u> 」が正しい。	2016/1/7 更新
105	第 27 回問題 81・解説の選択肢 3	(前略)2013 年(平成 25)年の成年後見関係事件では、-(中略)-市町村長による申立ては 5046 件で全体の <u>13.2%</u> にとどまっている。	(前略)2013 年(平成 25)年の成年後見関係事件では、-(中略)-市町村長による申立ては 5046 件で全体の <u>14.7%</u> にとどまっている。	2016/5/31 更新
112	第 27 回問題 86 の問題 選択肢 2	第 2 回・第 3 回と回を重ねる <u>こと</u> に	第 2 回・第 3 回と回を重ねる <u>ごと</u> に	2016/1/7 更新
122	第 27 回問題 94 の解説文 選択肢 5	「障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)」の <u>一般原則では、①障害者の尊厳、②自律および自立の尊重、③無差別、④社会への完全かつ効果的な参加および包容等の 4 つが定められている。</u>	「障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)」は <u>一般原則として、①固有の尊厳、個人の自律(自ら選択する自由を含む。)</u> 及び <u>個人の自立の尊重、②無差別、③社会への完全かつ効果的な参加及び</u>	2016/1/7 更新

			<u>包容、④差異の尊重並びに人間の多様性の一部及び人類の一員としての障害者の受入れ、⑤機会の均等、⑥施設及びサービス等の利用の容易さ、⑦男女の平等、⑧障害のある児童の発達しつつある能力の尊重及び障害のある児童がその同一性を保持する権利の尊重を定めている。</u>	
158	第 27 回問題 125 の解説文 選択肢 1	( <u>労働安全衛生法規則</u> 第 52 条)	( <u>労働安全衛生規則</u> 第 52 条)	2016/1/7 更 新
175	第 27 回問題 136 の解説文 選択肢 4	推計世帯数は、母子世帯 <u>1237 万 7000</u> 世帯、父子 世帯 <u>223 万 3000</u> 世帯である。	推計世帯数は、母子世帯 <u>123 万 8000</u> 世帯、父子世 帯 <u>22 万 3000</u> 世帯である。	2016/1/7 更 新
223	第 26 回問題 28 の解説文 選 択肢 4	それ以外の、指定居宅サ ービス事業者・ <u>指定介護 老人福祉</u> 等の指定に関し ては、	それ以外の、指定居宅サ ービス事業者・ <u>指定介護 老人福祉施設</u> 等の指定に 関しては、	2016/1/7 更 新
321	第 26 回問題 126 の脚注	※ <u>2015</u> (平成 25) 年 10 月 1 日現在の調査結果が 発表されている。	※ <u>2013</u> (平成 25) 年 10 月 1 日現在の調査結果が 発表されている。	2016/1/7 更 新